

授業グレードアップ! Vol. 6

"教科書" を活用した情報整理の視点 ~中学歴史「戦後日本の発展」~

教科書を使った学習は、「教科書の本文、○ページから□ページ」というように学習範囲が限定され、生徒にとって情報収集がしやすくなります。

教科書に載っている情報の整理の仕方を工夫して指導すれば、生徒一人一人に、大事な学習内容を確実に捉えさせることができます。

今回は、「対比」を視点にして、教科書の本文に書かれている情報を整理する実践例を紹介します。



〈視点を与えて教科書の情報を整理させる〉

単元は、中学歴史「戦後日本の発展と国際社会」、使用教科書は、中学校『新しい社会歴史』東京書籍の226～229頁です。

〈教科書活用その1〉本文を音読させた後、重要語句を確認する。

教科書の本文「1 占領下の日本」と「2 民主化と日本国憲法」を音読させた後、次の発問をします。

発問1 敗戦後の日本では、様々な改革が行われました。それらをまとめて何と言いますか。

答えは、「戦後改革」です。この用語は、本文中に太ゴシックで書かれているので、生徒は容易に見つけることができます。このように、**太ゴシックが重要語句**であるということを中学1年生の時期から指導しておくことが大切です。

〈教科書活用その2〉重要語句に関する情報を整理させる。

ノートに「戦後改革」と書かせた後、下のような表を板書し、ノートに写させます。

板書1 戦後改革

	戦 前	戦 後	重要事項
軍 隊	①	②	
天 皇	③	④	
選挙権	⑤	⑥	
財 閥	あり	⑦	
農 地	地主と小作	⑧	⑨
憲 法	大日本帝国憲法	⑩	⑪
教 育	6年間	⑫	⑬

表に記した戦後改革の7項目は、教科書の本文に書かれており、「戦前と戦後」という視点で情報を整理することが可能なものです。

全員がノートに書けたことを確認して、次のように発問し、答えを教科書から見つけさせ、ノートの表にまとめさせます。

発問2

- (1) 戦前、軍隊はありましたか。①のところに答えを書きましょう。
また、軍隊は戦後どうになりましたか。②のところに答えを書きましょう。
- (2) 天皇は戦前、何と言われていたのですか。漢字一字で③に書きましょう。
天皇は戦後、自分が何であると宣言しましたか。漢字二字で④に書きましょう。
- (3) 選挙権は戦前と戦後、それぞれ誰に与えられていましたか。⑤と⑥に書きましょう。
- (4) 財閥は戦後、どうになりましたか。漢字二字で⑦に書きましょう。
- (5) 戦前の農村は、地主と小作人の関係でしたが、戦後は何農家が増えましたか。
漢字三字で⑧に書きましょう。このような農村の改革を何と言いますか。漢字四字で⑨に書きましょう。
- (6) 戦後の新憲法の名前は何ですか。⑩に書きましょう。また、新憲法の三つの基本原理は何ですか。⑪に書きましょう。
- (7) 義務教育は戦後、何年間になりましたか。⑫に書きましょう。義務教育や教育の機会均等、男女共学などを定めた法律は何ですか。⑬に書きましょう。

「戦前と戦後」という対比の視点に沿って、生徒は教科書から必要な情報を取り出して、「戦後改革」の内容を整理することができます。

〈教科書活用その3〉情報整理後に本時のキーワードを確認する。

「戦後改革」に関する情報を整理した後に、まとめとして次の発問をします。

発問3 「戦後改革」における大切なキーワードが2つあります。何でしょう。
ヒントは「〇〇化」です。

答えは、「**非軍事化**」と「**民主化**」です。これも生徒は容易に見つけることができます。教科書本文の小見出しが「占領の始まりと非軍事化」と「民主化」だからです。

本文の**大見出し**や**小見出し**に**キーワードが含まれていることが多い**のです。このことも中学1年生の時期から指導しておくことが大切です。

**教科書を活用して、必要な情報を収集し、
整理するためには、整理の“視点、を
与えることが大切です。**

